

15	益田市民吹奏楽団	講評者	大曲 義和	先生
----	----------	-----	-------	----

① 楽 オモイイ配置ですね。クラフの響きを理解されての事でしょうか。
 Tutti時、perc、Tpが木管群の如を食ってしまうのは相変わらずで結構
 つくらは、パート間のバランスが問われるので考慮してください。
 (木管が弱いという=とも考之れませう) Cl, Fl, Saxが、
 もっともっと吹き出しなさい。Tpは1stだけ持て行かない。
 ② 木管群のサウンドに金管や打楽器がくっつけるのが理想ですが
 やはり、2番目の金物がやたらデカくなり、他の金き減たくなります。
 (ジャフ時のバランスは考えください)

クラフが唐突すぎて、深く感じます事があります

各パートの2nd, 3rd などのハーモニーパートが全体に
 支えとして出せたら、もっと豊かなサウンドになります。

◎ 久々に精々音楽をきかせて頂きました。あのようでした。
 あとは、各パートがみ合ひではなく調和の取れた作品に
 して欲しいと思います。